

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年4月21日

事業所名 Haccii 808

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		十分に安全面を確保してしています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		基準以上の配置を行っています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		職員間で検討をし、随時よりよい環境づくり・安心のできる場づくりに努めています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々の清掃はもとより、設備の消毒等の感染対策を徹底しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今回が初めての評価となりますが、今後も保護者様からの意見を真摯に受け止めるとともに、職員間での共有、改善を行い、よりよいサービスができるよう努めます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後多面的に評価できる環境を整え、よりよいサービスの提供ができるよう検討します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		入社時に入念な研修を実施、また他機関の研修の機会には積極的に参加しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で企画立案を行うとともに、月1回の全体会議により検討しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節にあわせたプログラムを作成し、実施しています。	曜日ごとに違った系統のプログラムを計画し、その枠組みの中で週ごとに企画案を考え実施していきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		役割分担を決めるとともに、ご利用者様の特性の情報共有、1日のシミュレーションを行っています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日報にその日の特記事項、ご利用者様の体調変化等を記録し、職員間で共有し、必要に応じて検討・対策を行っています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		主に児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		今後必要があれば、連携を行っていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			保護者様にご協力いただき、主治医の聞き取り表を作成しています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		対象のご利用者様がないため、今後必要があれば情報共有を行っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		対象のご利用者様がないため、今後必要があれば情報共有を行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナウイルス感染症の動向が落ち着きを見せたら、そのような機会をとることができるよう検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳で日々の様子をお聞きすることや、電話やメールでのやりとり、送迎時に直接お話をさせていただいています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○			定期的に懇談会を行っております。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			ご利用開始時には説明させて頂き、ご質問等には丁寧にお答えさせて頂いております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			定期的に懇談会を行っております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナウイルス感染症の動向が落ち着きを見せたら、そのような機会をとることができるよう検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			相談があった際には職員間で共有し、検討の上対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		現在は日々の連絡のみですが、月1回程度活動内容を記した会報を発刊し、情報発信できる準備を進めています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	机上訓練を行っております。	今後、実際の非常災害を想定した訓練を行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	利用開始時に確認させていただくとともに、毎月変更等がないか確認させていただいています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	主治医に対しての聞き取り表を基に、職員間で情報共有を行い、個別に適切に対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	事例を原因分析を行い、具体的対策案について意見を出し合い、随時対策を行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現在、身体拘束を実施しているご利用者様はありません。